

# チャノキイロアザミウマ情報第2号

平成25年6月4日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 1 発生の状況

東浦町のブドウほ場と南知多町のカンキツほ場に設置した黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、5月第5半旬にピークを迎えました(図)。

5月下旬に行った、ほ場周囲のイヌマキ(防風垣)における本種の生息数調査(カンキツ21ほ場及びブドウ13ほ場の10新梢の払い落とし虫数)では、カンキツで1.5頭(平年5.3頭、前年7.8頭)、ブドウで4.9頭(平年1.6頭、前年1.2頭)となり、カンキツでは平年より少ない一方、ブドウではやや多い発生量でした。

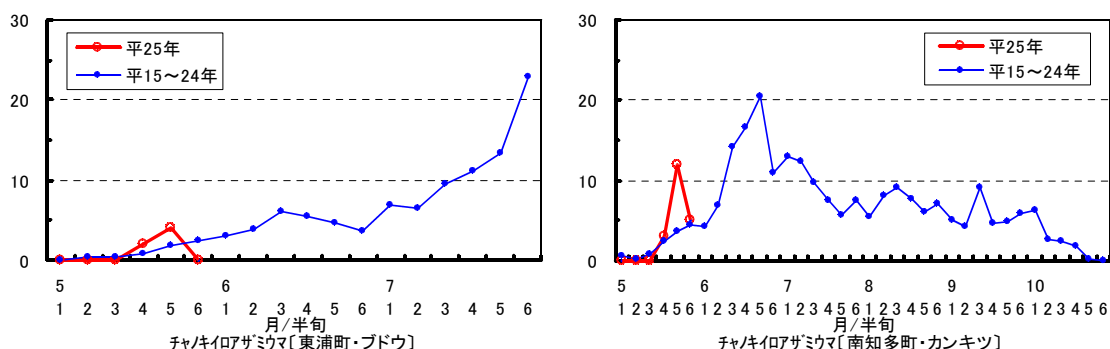


図 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

## 2 発生ピーク日の予測と防除

中山間部を除いた地域における第2世代成虫の発生ピーク予測日は、6月13日～18日です(表1)。これは、昨年より2～5日早くなっています。成虫の発生ピーク時が防除適期なので、発生の多いほ場では、表2を参考に防除しましょう。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	新城	伊良湖	稲武
第1世代	5/22	5/22	5/18	5/22	5/22	5/19	5/21	5/22	5/21	6/10
第2世代	6/17	6/18	6/13	6/18	6/18	6/15	6/17	6/18	6/16	7/09
第3世代	7/08	7/10	7/04	7/09	7/09	7/07	7/11	7/09	7/08	8/01
昨年の第2世代	6/20	6/20	6/16	6/20	6/22	6/19	6/19	6/23	6/18	6/14 (第1世代)

※アメダス平均気温を利用しています。各地の気温は6月3日までは実測値を、それ以降は、豊橋では前年値、それ以外の地点では平年値を用いて計算してあります。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
ブドウ	アドマイヤー顆粒水和剤
	コテツフロアブル
	コルト顆粒水和剤
	ダントツ水溶剤
カキ	コテツフロアブル
	ダントツ水溶剤
	コルト顆粒水和剤
	モスピラン顆粒水溶剤
カンキツ	モスピラン顆粒水溶剤
	アドマイヤー顆粒水和剤
	ハチハチフロアブル

農薬の散布にあたっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。